



- 一、しっかり学ぶ 錦の子
- 一、よりよく生かす 錦の子
- 一、なかよく生きる 錦の子
- 一、元気でがんばる 錦の子

全校朝会（夏休み前）～表彰・夏休みの過ごし方～

7月19日（金）、夏休み前の全校朝会を行いました。児童には、読書と家の手伝いを毎日続け、食事を毎食しっかり食べることで、頭と体と心の栄養になるという話をしました。また、各種大会等で入賞した児童の表彰を行いました。受賞した児童は、右のとおりです。

名 称	賞区分	学年組	氏 名
歯と口の健康習慣作品コンクール	ポスターの部3席	5年1組	鈴木 陽奈
	標語の部3席	1年2組	須山 琥右
	標語の部佳作	4年2組	木村 文香
	作文の部佳作	3年2組	清水 奏
宇都宮市水泳競技大会Bブロック	5年女子50m自由形第4位	5年1組	佐藤美日菜
	5年女子50m平泳ぎ第5位	5年1組	奥村 夏梨
	5年男子50m自由形第2位	5年1組	荒木 康志
	5年女子50m自由形第3位	5年1組	茂谷 優花
第44回栃木県スポーツ少年団バレーボール交流大会	第3位	5年1組	加藤 彩華
第66回全国空手道選手権大会予選兼第51回栃木県大会	小学6年生女子組手第3位	6年1組	五十嵐羽菜
第26回栃木県柔道少年団学年別柔道選手権大会支部予選会	5年生軽量級準優勝	5年1組	竹中 希唯



全校朝会（夏休み明け）

8月29日（木）全校朝会を行い、学校生活が無事にスタートしました。児童は朝から元気に登校することができました。また、8月9日（金）に産前休暇を取得した 津村里菜 教諭の代わりに4年2組を担当する 宇野姫菜 教諭が着任しました。どうぞよろしくお願いします。



P T A 奉仕作業

8月24日（土）、6時30分から奉仕作業を行いました。170名を超えるたくさんの方々にご協力をいただきました。早朝から気温も高く蒸し暑い状況でしたが、みなさん最後まで熱心に作業をされ、除草後はゴミ保管庫がいっぱいになるほどでした。また、トイレや手洗い場もきれいになり、気持ちよく学校生活をスタートすることができました。

宮っ子チャレンジウィーク

9月9日（月）、宮っ子チャレンジで陽北中学校の2年生が来校しました。本校の卒業生で、石原さん、橋本さん、渡邊さん、岩崎さん、尾山さん、手塚さんの6名です。授業や給食の準備・片付けの補助、事務職員や図書館司書の仕事の手伝い、休み時間は児童と一緒に遊びながら見守り活動などを行いました。期間は13日（金）までです。



第2回いじめゼロ強調月間

9月は「第2回いじめゼロ強調月間」です。市のスローガン「いじめゼロ しない 負けない 許さない」と本校のスローガン「やさしいきもち みんなの笑顔が 光りだす」の下、いじめは絶対に許さないという共通認識で、子供たちが明るく充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。学年だよりや本校HP等でも紹介しております。

授業参観・オープンスクール

9月11日(水)、今年度2回目の授業参観を実施しました。今回は、昼休みから学校の様子を参観できるオープンスクールとしました。6学年は、10月24日～25日の修学旅行について、児童・保護者合同説明会を行いました。



音楽鑑賞教室（全学年）

9月10日(火)、アンサンブルユニット「アマービレ」の皆様による、音楽鑑賞教室を実施しました。オペラやフルート、バイオリン、オーボエ、チェロの演奏の他に、代表児童がウッドブロックやトライアングルで演奏に参加しました。



主役を引き立てる名わき役 ～ 感謝と謙虚 ～

ガーデニングが趣味という人が増えてきました。季節の花やハーブなどの植物と接することは、脳を刺激し心身のバランスを整え、心を和ませるなど、花の癒し効果が医学的にも証明されています。また、春は桜や菜の花、夏は紫陽花や向日葵、秋は秋桜、冬は梅や水仙のように、四季を通して様々な花を楽しむことができます。花はそれぞれに美しく魅力的ですが、よく見ると花を引き立てている茎や葉の存在も見逃せません。生け花や花束には、ほとんどの場合緑の葉が添えられ、絵画の額縁のように花をより美しく映し出してくれます。茎や葉は、控えめで常に調和を重んじ、周囲を気遣いバランスをとってくれる、まさに名わき役と言えます。着物の帯もしかりです。帯の役目は、目立ち過ぎず主役である着物の存在を引き立てることにあるのです。また、有名な柿右衛門という焼き物があります。柿右衛門の真髄は、白い生地の上に鮮やかな赤色が映えています。一見、鮮やかな色彩に目が向かいがちですが、実は皿全体に広がっている白地が名わき役となり、この色彩を引き立ててくれています。私たちの日常生活でも、常に調和を重んじ周囲に気を遣い、バランスをとってくれる人が身近にいるように思います。京セラや KDDI を創業し、日本航空を再建した 稲盛 和夫 氏は、「本当に伸びる人は、素直な心をもって人の意見をよく聞き、常に反省し、自分自身を見つめることのできる人で、そうした素直な心でいると、その人の周囲にはやはり同じような心根をもった人が集まり、ものごとがうまく運んでいく。素直な心とは、自分自身のいたるなさを認め、そこから努力するという謙虚な姿勢のことである。」という言葉で、パナソニックの創業者で「経営の神様」と呼ばれている 松下 幸之助 氏は、「先ず人としての心がけとして大切なことは感謝と謙虚である。」という言葉を残しています。「素直な心」と「謙虚な姿勢」、さらに「感謝の気持ち」をもち合わせ、周りに気を配ることができる人は、名わき役としてだけでなく、主役としても周囲から厚い信頼を得て、十分な力を発揮するものではないでしょうか。 ～ 実るほど頭を垂れる稲穂かな ～



本校のHPは日々更新しています。
最新情報はHPでご確認ください。



にっこりえがお
しっかりまなぶ
きたえるからだ